

## 第 196 回 日本材料学会 岩石力学部門委員会 議事録

日 時：平成 22 年 1 月 6 日（水）13：30～17：00

場 所：(社)日本材料学会 3 階会議室

出席者（敬称略）：朝倉俊弘(委員長)，石川浩次，伊東佳彦，菊地宏吉(講演者)，齋藤敏明，  
佐々宏一，寺田道直，西山 哲，山田浩幸（講演者），笹尾春夫（幹事）

### 1. 講 演

(1)「大規模斜面災害 一発生原因と崩壊メカニズムー」

京都大学名誉教授 菊地 宏吉 氏

(2)「大土被りの蛇紋岩地山における最善管理型二重支保の設計と施工」

(株) 鴻池組大阪本店 土木技術部 部長 山田 浩幸 氏

### 2. 委員会報告・学会よりの連絡事項

(0) 前回議事録の確認----- (資料 1-2 頁)

幹事より説明があり，承認される。

(1) 部門ホームページのサーバ移行その他について----- (資料 3-5 頁)

幹事より説明があった。また，岩石力学部門委員会のメーリングリストを開設した旨説明があった。

(2) 会員増強について----- (資料 6-7 頁)

学会より会員増強のため，正会員勧誘の依頼があった旨，幹事より説明があった。また，年次学術講演会登壇または参加とともに入会すると会費が割引になる新制度についての説明があった。

(3) 平成 21 年度事業報告，決算報告書その他提出について----- (資料 8-13 頁)

事業報告，決算報告書については委員長，幹事が協議の上提出する旨の説明があり，了承された。

(4) 岩石力学部門委員会 会費未納について----- (資料 14 頁)

会費未納者に対し幹事より督促のメールを送信した旨の説明があった。

(5) 委員会活動報告提出について----- (資料 15-18 頁)

委員会活動報告について，委員長，幹事が協議して提出する旨の説明があり，了承された。

(6) 次期編集委員会部門担当委員の推薦について----- (資料 19-24 頁)

幹事より，西山委員に継続して就任依頼する旨説明があり，承認された。

(7) 次期企画事業委員会委員の推薦について----- (資料 25 頁)

幹事より，村田委員に継続して就任依頼する旨説明があり，承認された。

(8) 講師派遣事業に関するアンケートについて----- (資料 26-27 頁)

学会よりのアンケート回答依頼について幹事から説明があった。

(意見)

例えば、液状化試験のような実験、観察が小中学生には良いのではないか。必ずしも当部門委員会の委員が講師となるわけではない。

当委員会からテーマを提案する。朝倉委員長と笹尾幹事の個人対応とする。

### 3. 講習会について

今年の材料講習会は当部門委員会が主体となって開催する旨、朝倉委員長から提案があり、承認された。

以下、意見、情報等。

- ・あまり利益を上げる必要はない。
- ・去年は村田委員に担当いただいた。
- ・コンクリート関係は毎回100人程度参加している。
- ・テーマは、例えば材料とメンテナンス。
- ・技術継承ができていない。先輩と後輩ののみながらの伝承がない。失敗談を話せば技術の伝承、継承になるのでは？
- ・対象構造物と分野は岩盤構造物、ダム、トンネル、斜面、探査、地下水／地下利用、山留め、海峡連絡橋など。
- ・現時点で誰にも迷惑をかけないような内容とする。
- ・例えばダムで菊地委員にお願いします。その場合、外国の事例の方が差し障りがない。
- ・海峡連絡橋については山縣守氏が良い。
- ・トンネルは朝倉委員長
- ・斜面は国際航業の大島先生
- ・対象はゼネコン、コンサルの若い人とするのが良いのでは
- ・3月～4月頃には講師、タイトルの概要が決まっている必要がある。
- ・講習会の具体案を作成し講師は個別に相談することとする。

### 4. その他

- ・委員会の開催場所について

部門委員会を年に1回は関東で開催してはどうかという意見があった。

→品川に京都大学のサテライトがあり使用できる。今後の検討事項とする。

- ・見学会について

次回委員会は見学会とする。開催日は4月9日(金)または23日(金)とする。第一候補の場所は岩手の荒砥沢ダム見学とし、伊東委員に受け入れ先(東北農政局)と連絡を取っていただくこととする。